

キャラクター名
啼(なき)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	琵琶奏者
	オプショナル		年齢	13	性別	女
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	53	%
出自	平凡な家庭	経験	とある事故	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	13		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術: 琵琶			知識: 音楽			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 情報屋	
コネ: 噂好きの友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
傍らに立つ影	P	N		
石楠肆道	P 尽力	N 隔意		
家族	P 遺志	N 疎外感		
支部の人たち	P 尽力	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ファンアウト	1	4	セットアップ		範囲選択			
効果: 戦闘移動 Lv回								
原初の虚: 氷熱の軍団	6	13(10+3)	インシアブ		シーン選択		120	
効果: ラウンド間攻撃力+[Lv*4] シナリオ1回								
原初の灰: 幻想の獣王	3	6	マイナー				120	
効果: シーン間ダメージダイス+LvD。リアクションが不能になる								
原初の赤: サイレンの魔女	5	6(5+1)	メジャー		シーン選択			
効果: 装甲無視 攻撃力[Lv*3] コンセのらない								
(原初)細胞侵蝕	5	5(4+1)	メジャー					
効果: 邪毒Lv+重圧 シーン1回								
原初の黒: 隠された世界	1	1d10	オート				100	
効果: 「対象: 単体」ではない攻撃の対象を単体に変更する								
原初の紫: デビルストリング	2	7(6+1)	オート					
効果: [制限: -]のオートアクションを無効にする。エネミーエフェクトや制限のあるエフェクトに使用はできない								
巨人の影	1	3	オート					
効果: 与ダメージ後、任意のエフェクトレベルを+2する。シナリオ1回								
勝利の女神	5	4	オート				100	
効果: 達成値[Lv*3] 1ラウンド1回								
ラストアクション	1	5	オート				100	
効果: HP0で使用。メインプロセスをおこなう。シナリオ1回								
イージーフェイク: 真偽感知	★							
効果:								
シャドウダイバー	★							
効果:								
効果:								

「啼は啼だぞ。これでもしどーの補佐で、立派なUGNちるどれんなのだ」

「きみの旅路に愛を紡ごう。きみの歩む道に幸福を奏でよう」

「救ってもらったこのいのち。わたしはいつだって、しどーのために使う覚悟はできているのだ」

◆経歴
一般家庭で育ち、父、母、琵琶演奏家の祖母と生活していた少女。
5年前、とある事故で家族を失い、覚醒したところを石楠肆道に拾われる形でUGN明線支部へ所属。
啼という名前は支部へ所属する際に自分でつけた。
家族との思い出を忘れたわけではないが、幼すぎた彼女にはあまりにもつらい現実であったため、あの自分は名前と共に家族の亡くなった事故現場へ置いていくことにした。

常に持っているコントラバスほどのやけに大きな琵琶を演奏することを得意としている。
装飾には金の石楠花を施し、彼女はそれを自分の傍らの存在のように大切に扱う。
琵琶自体は祖母から習っており、事故の際にもずっと抱きかかえていたという。

◆人物
ぼけっとした表情で、口数はあまり多いほうではなかったが、現在では普通に人と話せるようになった。
じとっとした瞳で常に目を合わせて会話をしようとする。「～だぞ」「～なのだ」という語尾が特徴的